

平成29年度予算に係る  
公共事業及び単独公共事業

主要箇所の概要

うじたわらやまてせん  
**一般国道307号 (宇治田原山手線)**  
 (宇治田原町ねだ費田みなみ～南)

一般国道307号は、滋賀県彦根市から宇治田原町を經由して大阪府枚方市に至る幹線道路であり、第二京阪道路や京奈和自動車道等と接続する京都府南部地域の重要な東西軸であり、第2次緊急輸送道路としての役割も担っております。

しかし、宇治田原町域では、朝夕には慢性的に渋滞が発生し、また平成25年の台風18号の際には土砂崩れで全面通行止めとなり、町内の交通機能が麻痺するなど、その代替機能の確保が求められており、平成35年開通予定の新名神高速道路の効果を活かした新たなまちづくりを支援するとともに、企業立地の誘導等による地域産業の振興に寄与します。

本事業により、供用済の宇治木屋線（南バイパス）から町道第1南北線までの区間を整備することにより、町道と一体となって国道307号を補完する道路網を形成するものです。

平成29年度は、路線測量を実施します。

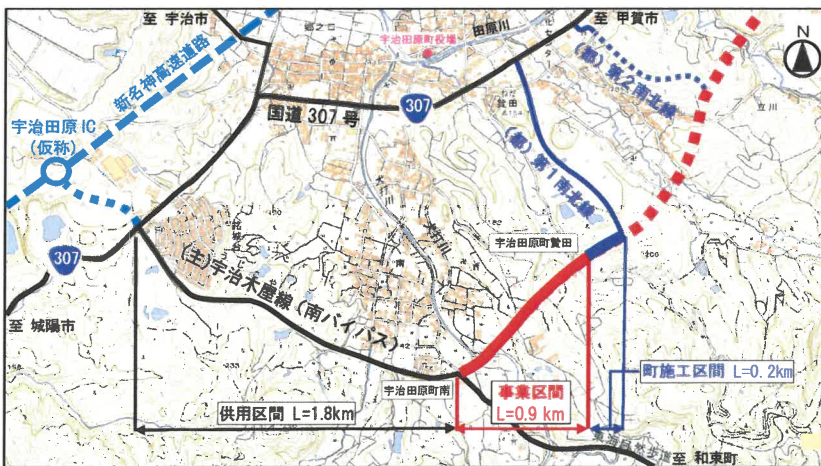
◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H29～H33 事業延長：0.9km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：約11億円	/	事業概要：路線測量  事業費：0.1億円

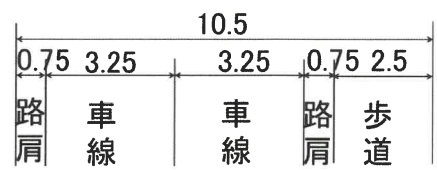
◎事業効果

- バイパス整備により、現道の渋滞を緩和し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、新たなまちづくりに寄与し、地域産業の振興や交流人口拡大等が図られます。

位置図



標準横断面図



単位(m)



【事業区間の状況】



【国道の渋滞状況】



【被災の様子 平成25年9月】

おおみやみやねやま  
**一般国道312号 (大宮峰山インター線)**  
きょうたんご みねやまちょうしんまち  
 (京丹後市峰山町新町地内)

一般国道 312 号は、京都府宮津市から京丹後市を経て兵庫県姫路市に至る道路で、京都府丹後地域においては山陰近畿自動車道（地域高規格道路鳥取豊岡宮津自動車道）と一体となる東西幹線道路です。

当該区間は、山陰近畿自動車道の内、平成 27 年度より直轄権限代行事業中の大宮峰山道路（(仮称)大宮峰山 IC）へのアクセス道路として整備することにより、地域の活性化に大きく寄与するものです。

平成 29 年度は、測量・設計に着手します。

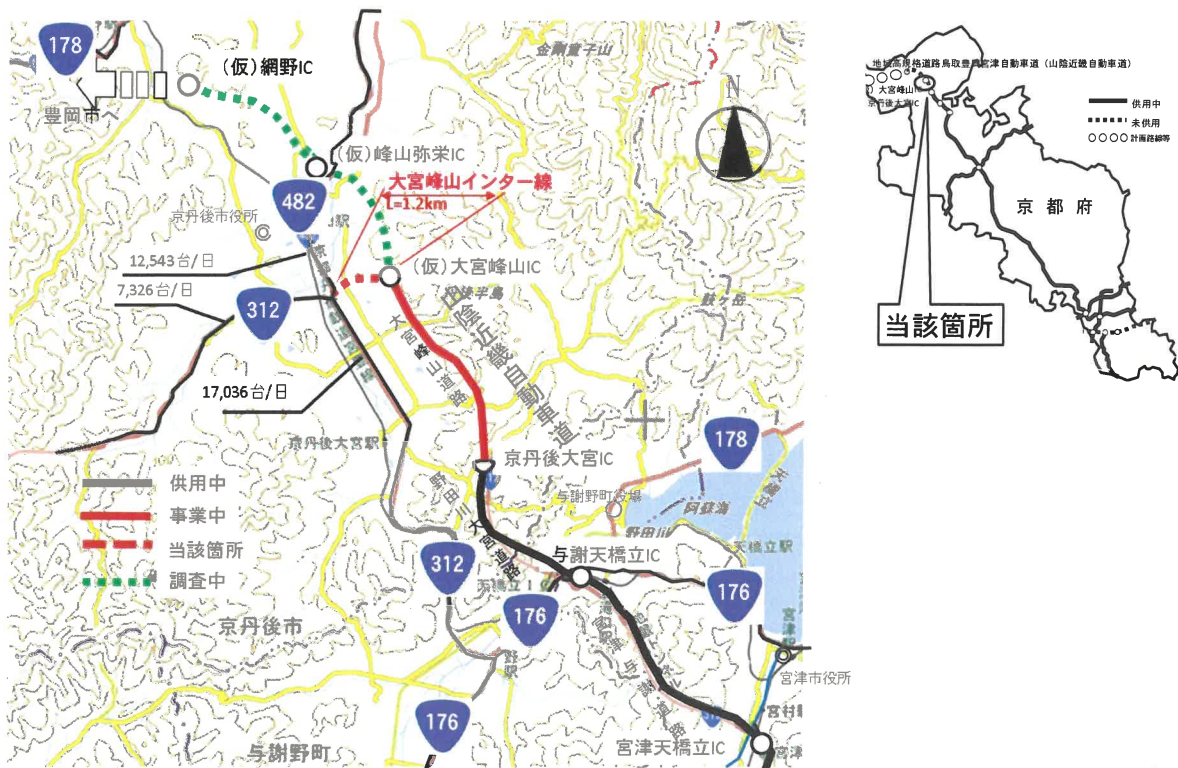
◎事業概要

全体計画	H28 までの実績	H29 計画
事業期間：H29～H36 事業延長：1.2km 幅員：6.5 (8.0) m 総事業費：約 9 億円	/	事業概要：測量・設計  事業費：0.2 億円

◎事業効果

- 道路の防災性を高め、周辺地域の防災機能の向上や広域的な医療体制の充実
- 物流や観光客等について、京都府中部地域と阪神地域との交流・連携を促進します。

【概要図】



# うじこや いぬうち 主要地方道 宇治木屋線 ( 犬打峠 )

(宇治田原町南<sup>みなみ</sup>～和束町別所<sup>べっしょ</sup>)

主要地方道宇治木屋線は、宇治市宇治橋を起点に相楽郡和束町木屋に至る道路であり、相楽東部地域と京都市域を結ぶ最短ルートですが、宇治田原町と和束町にまたがる犬打峠では、道路幅が狭く、急カーブが連続しているため、普通車の離合が困難な交通の難所となっています。

また、大雨時に孤立する恐れのある和束町の住民の安心・安全を確保するためにも重要な道路であり、和束町役場から宇治田原町インターチェンジまで15分程度で結ばれるなど、その整備効果が大いに期待されます。

本事業では、この峠区間をトンネル等で整備することにより、安全で円滑な走行の確保を図るとともに、高速道路へのアクセス機能向上により地域産業の振興や交流人口拡大に寄与するものです。

平成29年度は、路線測量及び道路設計を実施します。

## ◎事業概要

全 体 計 画	H28 までの実績	H29 計画
事業期間：H29～H35 事業延長：3.6km 幅員：6.0(7.5)m 総事業費：約65億円	/	事業概要：測量・道路設計  事業費：0.2億円

## ◎事業効果

- 線形改良により、現道の交通難所を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、地域産業の振興や交流人口拡大等に寄与します。

### 位置図



### 現道の状況



### 標準断面図



# 一般国道423号 (法貴バイパス)

(<sup>かめおか</sup> 亀岡市西別院町 ~ <sup>そがべ</sup> 曾我部町)

亀岡市南西部を通る国道423号は、大阪市北区の国道25号を起点とし、<sup>みのお</sup>箕面市を經由した後、亀岡市で国道9号に至る約53kmの道路で、近年は箕面有料道路の開通により大阪市内までの時間・距離が大幅に短縮され、京都府中部地域と阪神地域とを結ぶ重要な幹線道路となっています。

しかし、京都府域の亀岡市西別院町から曾我部町に至る区間は急カーブや急勾配が連続し、第1次緊急輸送道路に指定されているにもかかわらず異常気象時の事前通行規制区間であるため、車両の安全で円滑な通行に支障をきたしています。

このため本事業は、現道の急勾配・線形不良区間を迂回するバイパス道路を整備することにより、通行車両の安全で円滑な通行を図るものです。

平成29年度は、用地測量・建物調査・用地補償を実施します。

## ◎事業概要

全体計画	H28 までの実績	H29 計画
事業期間：H25～H34 事業延長：3.61km 幅員：6.5(8.0)m 総事業費：約42億円	事業概要：測量・調査 道路設計 事業費：2.4億円	事業概要：用地測量 建物調査 用地補償 事業費：1.2億円

## ◎事業効果

- バイパス道路の整備により、現道の交通難所を回避し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 道路の防災性を高め、事前通行規制区間の解消と緊急輸送道路としての信頼性向上を図ります。
- 物流や観光客等について、京都府中部地域と阪神地域との交流・連携を促進します。

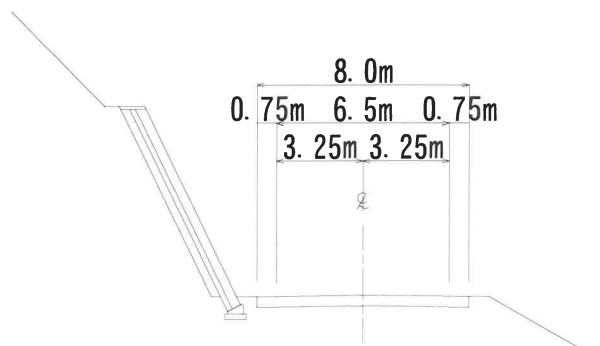
【位置図】



【現況】



【計画横断面図】



やわた きづ  
**主要地方道 八幡木津線(都市計画道路 山手幹線)**  
きょうたなべ し みやづ そうらくぐんせい いかちようしもこま  
 (京田辺市宮津～相楽郡精華町下粕)

主要地方道八幡木津線は、京都府南部地域に位置する八幡市と木津川市とを結ぶ南北幹線道路であり、地域間交流・連携を図る重要な路線であるが、現道は幅員が狭く人家が連なり、交通集中による渋滞が発生している状況です。

また、本路線は、国家的プロジェクトである関西文化学術研究都市の骨格をなすとともに、木津川左岸地域の地域振興にとって重要な役割を担っています。

このため本事業は、都市計画道路山手幹線の未供用区間である京田辺市宮津から精華町下粕地内に至る延長2.5kmをバイパス道路として整備を図るものであり、京奈和自動車道・精華下粕ICへのアクセス道路となり、木津川左岸地域の活性化に大きく寄与するものです。

平成29年度は、引き続き築造工、橋りょう工、舗装工を実施し、年度内全線供用開始を目指します。

◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H18～H29	事業概要：測量設計	事業概要：築造工
事業延長：2.5km	用地補償	橋りょう工
幅員：6.5(10.0)m	築造工	舗装工
事業費：約77億円	事業費：約62.52億円	事業費：14.48億円

◎事業効果

- 関西文化学術研究都市のまちづくりを支援します。
- 円滑な交通が確保され、地域間の交流・連携を図ります。

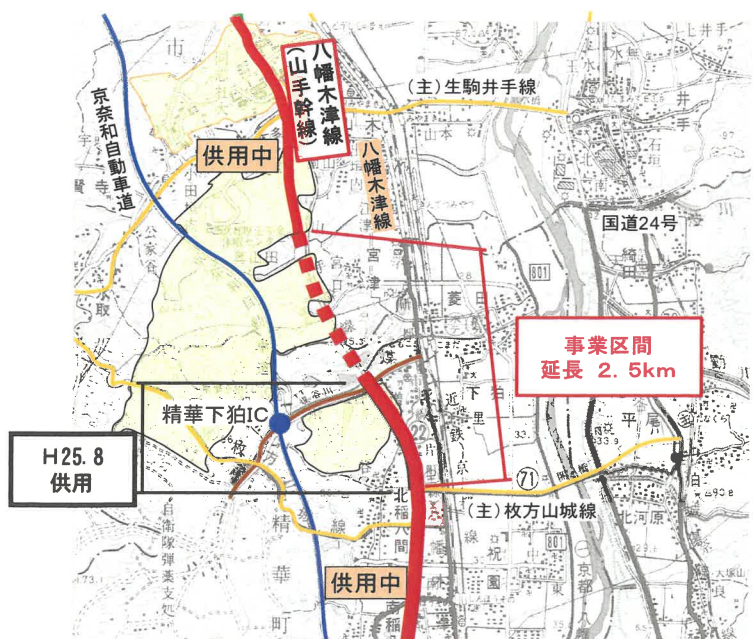
現道の状況



工事実施状況



概要図



あやべみやじま ひじたに  
**主要地方道 綾部宮島線 (脇谷バイパス)**  
おぶち みつの  
 (南丹市美山町小湊～三埜地内)

綾部宮島線は、国道27号と162号を結ぶ主要地方道であり、また緊急輸送路の指定も受けている重要な府道です。また、美山町を東西に貫く生活道路、大野ダム周辺を走る観光道路であり、万が一通行止めになった場合は、影響の大きい路線です。

昭和30年代の大野ダム整備に併せて改良した路線であり、特に当該地区は、幅員狭小・線形不良、またトンネル橋りょう等施設の老朽化も進んでいる区間で、安心・安全の確保のため、改良が強く望まれている区間です。

平成29年度は、橋梁詳細設計を実施します。

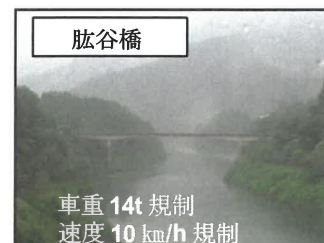
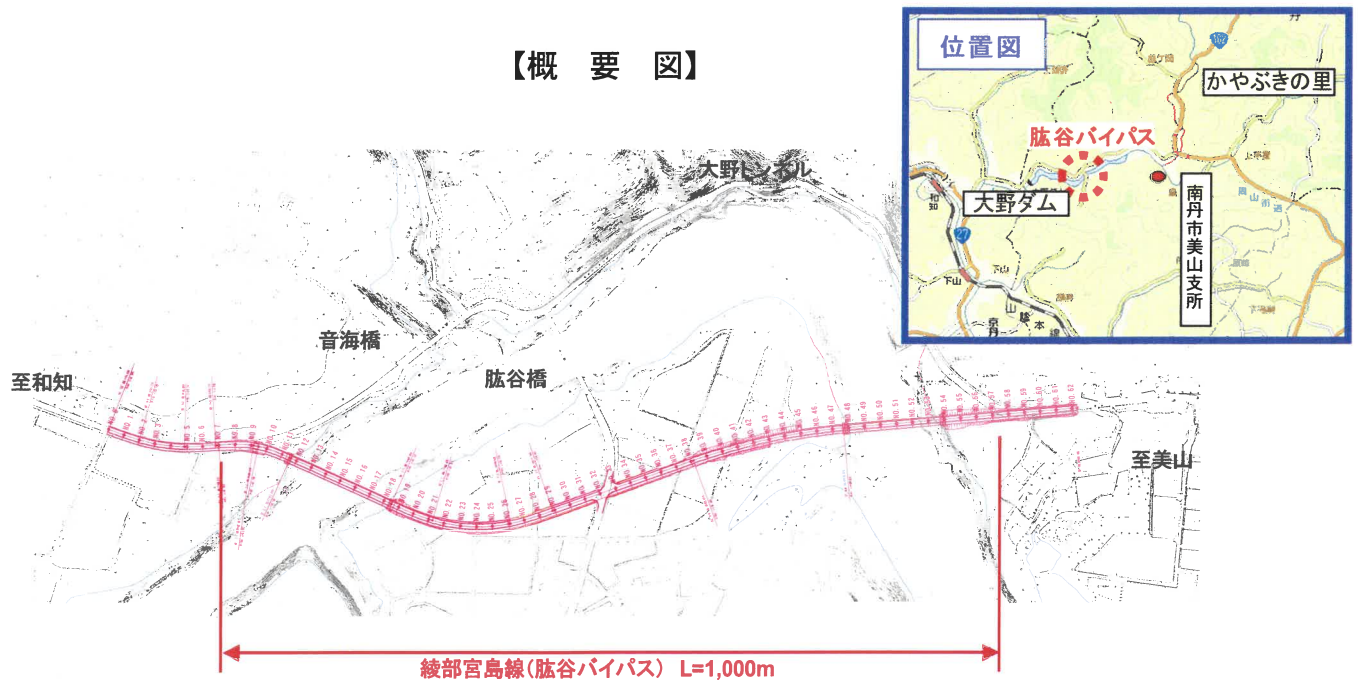
◎事業概要

全体計画	H28までの実績	H29計画
事業期間：H26～H34 事業延長：1.0km 幅員：6.0(10.0)m 総事業費：約29億円	事業概要：調査・測量 橋梁予備設計 事業費：0.8億円	事業概要：橋梁詳細設計 事業費：0.5億円

◎事業効果

- 大野トンネル・音海橋の幅員が狭く見通しの悪い区間を快適な道路に改良します。
- 脇谷橋老朽化に伴う通行支障など、集落孤立の恐れを解消します。

【概要図】



主要地方道 浜丹後線 (上野平バイパス)

(京丹後市丹後町久僧<sup>きゅうそう へい</sup>～平)

主要地方道 浜丹後線 (宮バイパス)

(京丹後市丹後町宮)

一般府道 間人大宮線 (丹後弥栄道路・丹後工区)

(京丹後市丹後町三宅<sup>みやけ やさか</sup>～弥栄町国久<sup>くにひさ</sup>)

主要地方道浜丹後線及び一般府道間人大宮線については、国道178号等と併せて丹後半島を周遊する道路を形成し、第2次緊急輸送道路に指定されるなど、地域の生活を支える重要な路線です。

しかし、一部区間で幅員が狭く、急カーブ・急勾配が連続するなど、安全な通行に支障をきたしているため、バイパス道路の整備により、通行の安全確保と地域振興の促進を図ります。

平成29年度は、用地補償、道路築造及び橋梁下部工等を実施します。

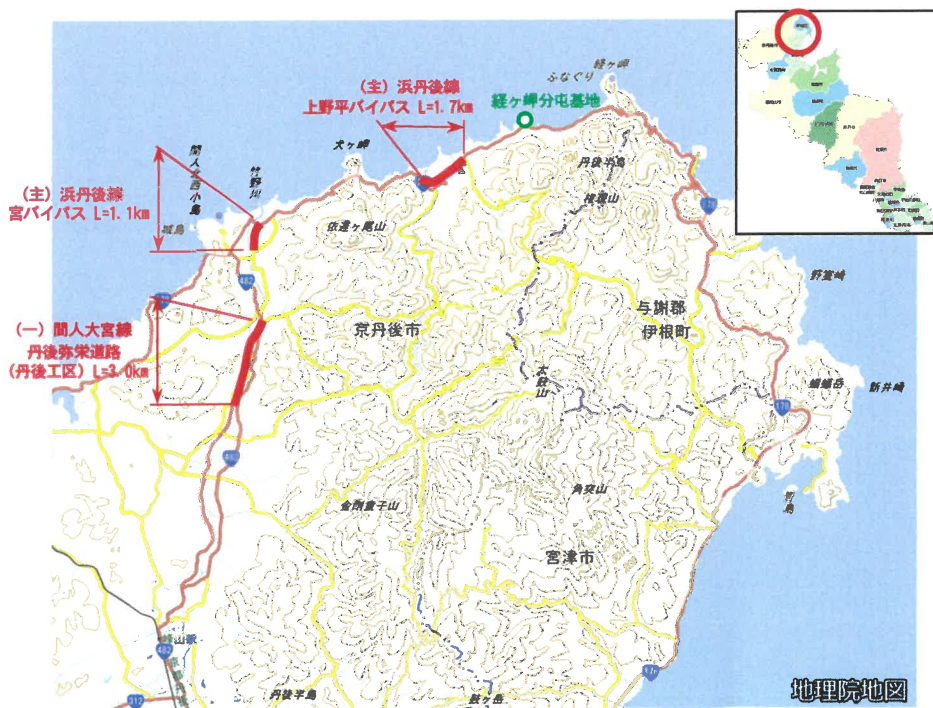
◎事業概要

箇所名	全体計画	H28までの実績	H29計画
(主) 浜丹後線 (上野平バイパス)	事業期間：H26～H33 事業延長：1.7km 幅員：6.0(10.0)m 総事業費：約13億円	事業概要：測量設計  事業費：4.1億円	事業概要：用地補償 道路築造  事業費：1.8億円
(主) 浜丹後線 (宮バイパス)	事業期間：H27～H31 事業延長：1.1km 幅員：6.0(7.5)m 総事業費：約5億円	事業概要：測量設計 用地補償  事業費：0.9億円	事業概要：道路築造  事業費：1.5億円
(一) 間人大宮線 (丹後弥栄道路 丹後工区)	事業期間：H26～H33 事業延長：3.0km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：約18億円	事業概要：測量設計 用地補償  事業費：4.0億円	事業概要：用地補償 橋梁下部工 道路築造 事業費：1.4億円

◎事業効果

- 急カーブ・急勾配が連続する交通ネック箇所を解消し、円滑な通行を確保します。
- 通過交通をバイパス道路に誘導し、現道部における歩行者の安全性向上を図ります。
- 丹後半島を一周する道路の整備により、観光振興を支援します。

位置図



現道の状況

